

# 「箕面体験学習の森」整備事業 ～自然再生推進モデル事業～

## 1 趣 旨

大阪府の北部に近接する箕面国有林を含む北摂地域は、かつて台場クヌギを仕立てて菊炭を生産するなど、活発な里山の利用が行われていたが、現在では、スギ、ヒノキの人工林が大半を占めている状況にあます。

このため、当センターでは、平成18年度まで里山再生推進モデル事業を実施し、具体的な里山再生メニューの決定及び里山整備、伐採木の利用、里山再生ガイドラインの作成等に取り組んできました。

これらの取組結果も踏まえ、里山モデル林を含む地域において、積極的な広葉樹の育成や伐採等による木材利用及び菊炭づくり体験等、森林環境教育のフィールドとして活用しつつ、多様性豊かな里山の再生と生物多様性の向上に資することとします。

また、当該事業の実施にあたっては、京都大阪森林管理事務所やボランティア団体と連携・協力を密にするとともに、当該事業に関連した森林環境教育プログラムの普及啓発などの取組みとの有機的な連携を図ります。

## 2 事業箇所

箕面国有林「エキスポ記念の森」及びその周辺(約27ha)

## 3 事業内容

### (1) 「箕面体験学習の森」整備事業検討委員会の開催

有識者、関係行政機関、教育関係者、地域住民、ボランティア団体を構成員とする検討委員会を開催し、「箕面体験学習の森」の整備方針の検討、作成。

### (2) 検討委員会における検討結果を踏まえた現地調査、森林づくり活動等の実施

現在の植生状況等を把握するための植生調査等の実施。  
NPO、地域住民等市民参加による広葉樹の植栽(クヌギ、エドヒガン等の地域らしい樹種への転換)や下層植生の導入を図るための森林づくり活動や獣害対策、昆虫など動植物の生息環境の整備、森林づくり活動により生産された木質資源の活用及び森林環境教育支援活動等の実施。



【箕面体験学習の森】

## 4 事業実施主体等

### (1) 主体

箕面森林環境保全ふれあいセンター、京都大阪森林管理事務所

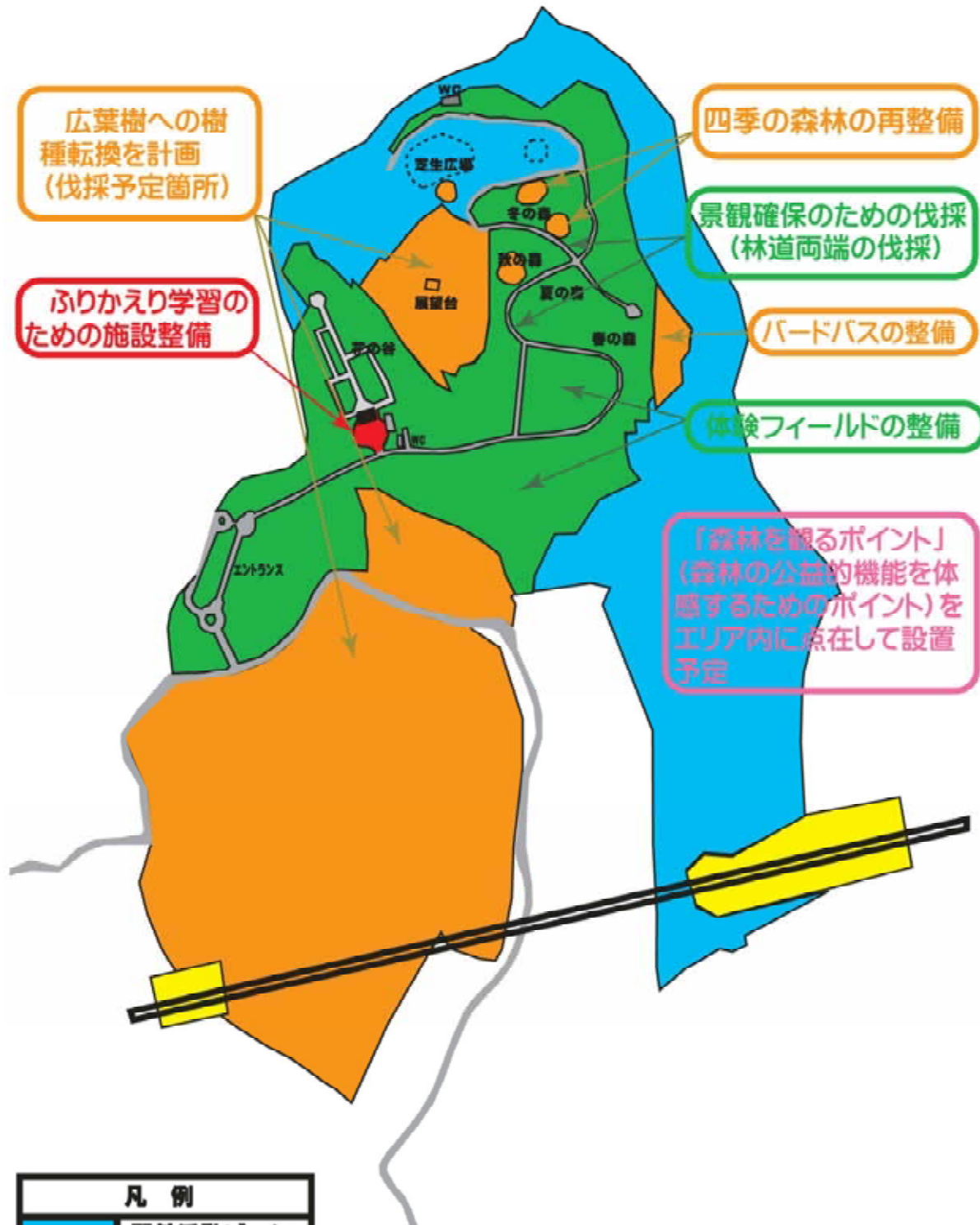
### (2) 連携相手方

大阪府、箕面市教育委員会

明治の森箕面国定公園保護管理運営協議会箕面自然休養林部会

問い合わせ先  
近畿中国森林管理局 指導普及課  
担当：大藏  
TEL：050-3160-6729

## 「箕面体験学習の森」整備事業位置図



# 「箕面体験学習の森」整備イメージ

## 野外活動ゾーン

目的：ネイチャーゲーム、ツリーハウス等の野外活動を通じて森林にふれあってもらえるゾーンとしての整備を行う。



整備：野外活動を実施するための芝生広場、森林の整備及びツリーハウスなどの設置



## 林業体験ゾーン

目的：人工林での作業体験を通じて、森林・林業を理解してもらうためのゾーンとしての整備を行う。



整備：間伐、下刈、シカ防護対策等の実施方法の検討及び実践



温度差等測定

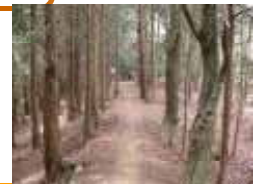


## 青空教室エリア

各ゾーンにおいての実践を踏まえ、振り返りの学習を行うエリア。



下層植生の変化等



## 里山体験ゾーン

目的：地域の特色を示す里山モデル林「箕面ながたにの森」を中心に、かつての北摂地域の森林文化及び多様な動植物を観察、学習するゾーンとして整備を行う。



整備：地域の特色を示すクヌギを中心とした広葉樹への樹種転換、昆虫類、ホンドリス、モリアオガエルなどの良好な生息域としての森林を再生するための検討。動植物への影響を考えた観察路の検討、整備及び伐採木を活用した炭焼き及びシイタケタケ栽培



炭焼き体験（菊炭）

..... 歩道

森を診るポイント